

山が、
わたしを呼んでいる。

宮崎県椎葉村

山は招く 芸術祭

SHIIBA ART FESTIVAL
-The mountain beckons-



2025年
11月7日
10月10日
金 金

会場：椎葉村内各所



参加アーティスト

<上椎葉エリア>



矢野鈴奈

<小崎エリア>



杉原信幸

<桐尾エリア>



コタケマン



馬喰町バンド



生島国宣



玉田黄太郎

上椎葉エリア / 小崎エリア / 桐尾エリア



SHIIBA.ART

椎葉村「山は招く芸術祭」開催のご案内

宮崎県椎葉村



SHIIBA ART FESTIVAL
-The mountain beckons-

アーツカウンシルみやざき（宮崎県芸術文化協会）は宮崎県「地域の魅力再発見支援事業」「文化の力で地域を元気にプロジェクト」の一つとして、椎葉村にて「山は招く芸術祭」を開催します。

日本三大秘境と呼ばれる椎葉村は、少子高齢化、消滅可能性自治体ともいわれています。地域の課題に向かい合うこと、外部の人達とつながるきっかけとして芸術祭をやってみます。村ではどんな課題があるのか、どんな事が起きたら嬉しいかを教えてくれた方に、**地域住民ディレクター**を依頼し、このディレクターの希望をもとに、全国からアーティストをお呼びしました。単なる滞在制作ではなく、**地域とアーティストによるワークショップ**を開催し、その成果としての芸術祭を開催します。

柳田國男が椎葉村で民俗学を発見したのは、椎葉村の暮らしには日本人の生活の源流のようなものに出会った衝撃からだと思われます。そして、椎葉村で生きる人達の生活には未だにそれが脈々と続いています。都市や平地での生活に慣れてしまった私達が、椎葉村の人達に出会うことで得られること、考えることをどう伝えたら良いのかをアートに託してみました。

日常を少し変えるワークショップから、地域がディレクションする芸術祭、これを新しい芸術祭の姿として発信していきます。

- ・ 日時 令和7年10月10日（金）～令和7年11月7日（金）
- ・ 主催 アーツカウンシルみやざき（宮崎県芸術文化協会）、宮崎県
- ・ 協力 椎葉村、九州電力株式会社、一般社団法人椎葉村観光協会
- ・ ホームページ <https://www.miyazakigeibun.jp/shiiba/>

椎葉村のみなさまへ

はじめまして、宮崎県の芸術文化振興をやっております、山森と申します。

ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、10月10日から芸術祭村椎葉村でさせていただきます。

僕は主に宮崎県庁の中にいますが、吉澤さんや生島さんをはじめとした地域おこし協力隊のみなさまと準備をさせていただいております。村外の人間ですが、椎葉の魅力をとくさんの方に知ってもらいたいと思っています。

小崎のやんぼしの下に流木でステージを作ったり、上椎葉ダムの上で音楽祭をやったり、鶴富屋敷では鶴富姫の糸会村苗いたり、梅尾のみなさんと踊ったり、小崎のあちこちに糸会を置いたり、みなさんの毎日を邪魔しないようにしながら、少し面白くすることをやろうと思います。

僕は、毎日を少し面白くすることをアートと呼んでいます。そのぶん、お騒がせするかもしれません。

何かお困りごと、お怒りがあればいつでもご連絡ください。

そして、小崎のみなさん、梅尾のみなさん、鶴富屋敷みなさん、役場のみなさん、ひえつき交通の皆さん、文芸協会のみなさん、まだまだ言い足りないくらいみなさんにお世話になっております。

うちにはこんな面白いのがあるよとか、もっと話が聞きたいとか、いつでもご連絡ください。

みなさまにお会いできますこと、楽しみにしております。

アーツカウンシルみやざき 山森達也

小崎エリア

ランドスケープアーティストの杉原信幸さんと、小崎の人たちが作り上げた水上ステージで、小崎の神楽や、山法師踊り、劇団ヒンビーによる芝居が繰り広げられる。

また、地域おこし協力隊「森のアーティスト」として滞在している生島国宜さんによる集落の空き家をギャラリーにした展示とアートツアーを開催。

【小崎】 流木のステージと川辺の芸能祭

日時

滞在制作：9月6日～9月26日

展示期間：10月10日～11月7日

山法師踊り + HINBeee 演劇：10月11日 17時から

神楽 + 民謡公演：10月18日 10月25日 11月1日 18時から

場所：小崎交流拠点施設「やんぼし」（東白杵郡椎葉村大河内1783、旧小崎小学校跡地）



杉原 信幸（すぎはらのぶゆき）

長野県生まれ。2010年より「信濃の国 原始感覚美術祭」を毎夏主催。2016年NPO 法人原始感覚舎設立、理事長。2019年ACCのフェローシップで8か月間の台湾原住民調査。2022年文化庁新進芸術家海外研修員として1年間の先住民調査（インドネシア、マレーシア、シンガポール）。2024年福岡アジア美術館AIR参加。

【小崎】 小崎アートセンター & 小崎をめぐるアートツアー

展示期間：10月10日～11月7日

場所：小崎集落

ツアーは要予約制です。予約はホームページから。



生島 国宜（いくしまくによし）

2024年より、宮崎県椎葉村地域おこし協力隊「森のアーティスト」として移住・活動中。主に絵画を通じて、存在論的テーマの探求、物事のリアリティや本質について検証している。最近の趣味はカレー作り。

梶尾エリア

神楽と同様に長い歴史を持つ民俗芸能の臼太鼓踊り。その前の晩に行う「庭踏み」を照明アーティストの玉田黄太郎さんによるライトアップで彩る。また、梶尾の人たちの思い出や歴史から生まれた仮想バス停や、日常によって作り上げられた生活のかけらを集めたミュージアムをオープン。

現代アーティストのコタケマンは、20年途絶えていた盆踊りをリメイクした「じゃじゃんべーら盆踊り」を行う予定。

【梶尾】 庭踏みに灯す

日時：10月17日

場所：梶尾神社



玉田 黄太郎（たまだ こうたろう）

イベント、デコレーション照明に関わって25年。世に無数の光源が存在しますが、そんな光を歪ませ、少し加工し空間を演出するのが私の仕事です。

【梶尾】 じゃじゃんべーら盆踊り

日時：11月3日

場所：梶尾の館



コタケマン（こたけまん）

日本人。1999年から画家活動を始める。自ら居住する一軒家を6年かけてまるごと作品にした「セルフ屋敷」や大阪で「己を祭れ」をコンセプトに興じた「セルフ祭り」などを発表。瀬戸内国際芸術祭2025秋会期本島会場では、泥で大きな絵を描く祭【うみのえまつり】を開催。

上椎葉エリア

鶴富屋敷では、日本画家の矢野鈴奈さんが地元の人達と描く鶴富姫の絵を囲んで、椎葉村の落人伝説を偲ぶ宴を行う。

全国で演奏活動を行う馬喰町バンドと椎葉村の人たちで1日限りの「ダム音楽祭」を開催。

上椎葉ダムの大規模アーチと山々にこだまする音が、この場限りの“音楽”を創り上げる。

【上椎葉】 鶴富姫を描く

滞在制作：10月7日～21日

展示期間：10月21日～11月7日

場所：鶴富屋敷：東臼杵郡椎葉村下福良181



矢野 鈴奈（やの すずな）

1992年宮崎県延岡市生まれ。2016年女子美術大学芸術学部美術学科日本画専攻卒業。関東、九州を中心に個展開催やグループ展示に出展。主に日本画、油絵を製作。気持ちを動かされる人の表情、生き物たちの生命力を作品に落とし込んでいる。

【上椎葉】 ダム音楽祭

日時：11月3日

場所：上椎葉ダム（東臼杵郡椎葉村上福良）



馬喰町バンド（ばくろちょうばんど）

武徹太郎・織田洋介を中心に、太鼓にサックス・ピアノに唄にと、さまざまな音楽家の力を借りながら活動中。

「ゼロから始める民俗音楽」をコンセプトに、古今東西のあらゆる芸術表現にルーツを求め楽器開発から映像表現まで自ら実践するスタイルで、テレビ・舞台・アニメーションの企画にも活動の場を拡げている。